

『現代中国と歴史像』

東亜文化叢書2

東亜文化研究所 紀要編集委員会編

発行年月日：1975年3月10日

目次

	論文名	執筆者	ページ
	序		
第一部	中国史論の再検討		
	中国村落の歴史的な性格と農村人民公社	山本秀夫	7
	はしがき		
	一 中国村落の歴史的な検討		
	二 西欧封建共同体と中国の伝統的農村		
	三 西洋と東洋－発展と停滞		
	四 農村人民公社について		
	M・ウェーバーの「儒教」と論語－一つの試論－	井上博二	31
	はじめに		
	一 儒家の思想と儒教		
	二 ウェーバーの「儒教」		
	三 論語とウェーバーの「儒教」		
	まとめと反省		
	法家における邑制・軍制・身分制－孔子批判によせて－	古賀登	69
	はしがき		
	一 商鞅登場		
	二 第一次変法		
	三 第二次変法		
	四 漢長安城		
	五 県郷亭里制度		
	六 阡陌制と代田法		
	七 漢代の家と村落		
	八 漢二十等爵制の爵位と齒位		
	漢代豪族の大土地経営について	藤家礼之助	115
	はしがき		
	第一章 奴婢、仮作、傭作労働		
	第二章 中小自作農民と共同体		
	おわりに		
	宋明儒学と「狂狷」の思想－宋明儒学の構造機能論的考察－	小林多加士	149
	一 中国の価値体系と生産様式		
	二 朱子の「理気論」と体制再編		
	三 陽明学と原始儒教的モチーフ		
	四 泰州学派と「狂狷」の思想		
	梁漱溟の中国國家改造論	熊野正平	183
	一 梁漱溟の生平事略		
	二 その思想的環境		
	三 梁漱溟の中国國家改造論（一）		
	四 梁漱溟の中国國家改造論（二）		
	五 中国國家改造の力を何に求めるか		
	六 中国國家改造の動力を何に求めべきか		
	むすび		
第二部	後進社会の近代化と社会主義		
	共産主義社会の原像と問題点－マルクスにおける－	永安幸正	215
	はじめに		
	一 必然の国と自由の国		
	二 物質代謝過程の合理的制御と生産力の発展		
	三 分業の廃止と全体的人間		
	四 労働と享受の原理		
	五 個体的所有の創造		
	六 共産主義社会への過渡期の問題		
	社会主義の新しい文明モデルへの模索－中・朝社会主義における社会経済モデルの“実験”－	高瀬浄	233
	緒言		
	一 中国型社会主義の社会経済発展モデル		
	二 朝鮮社会主義と“大安事業”モデル		
	三 “青山里”モデルと農・工の収斂		
	結び		
	中国社会主義革命における基本命題－林彪事件の本質について－	蔵居良造	251
	一 林彪事件の本質		
	二 林彪の国防部長就任の意味するもの		
	三 軍指導下の社会主義教育運動		
	四 文化大革命始動に果した軍の役割		
	五 三支兩軍		
	六 党再建と軍の立場		
	七 軍の変質		
	八 軍問題の根元		